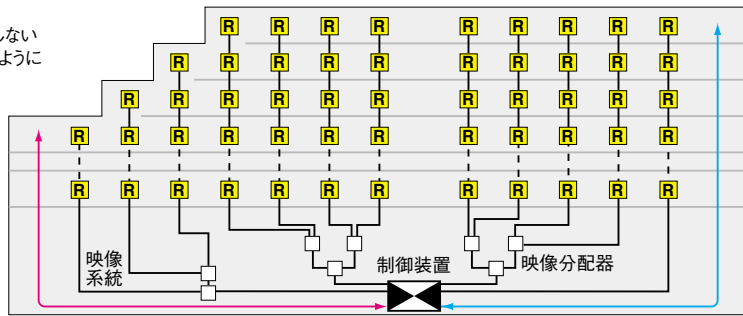


映像系統のご設計にあたって

制御装置がVHXW-「」の場合

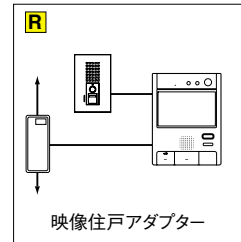
●下記条件に合うように映像分配器を設置し、映像系統を決めてください。

※映像分配器を使用しない場合は条件1に合うようにしてください。



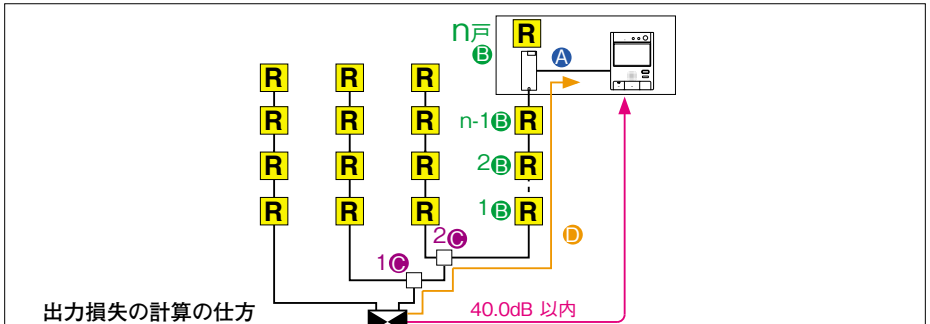
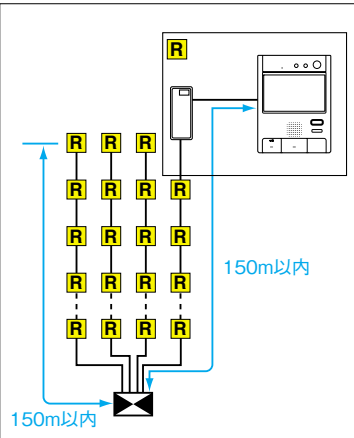
40dB以内
条件2.制御装置からの居室への映像信号出力損失

150m以内
条件1.制御装置から最遠住宅情報盤までの距離



条件1 最遠住宅情報盤距離は150mまで

条件2 映像信号出力損失は40.0dB以内です



出力損失の計算の仕方

映像住戸アダプターがVH-KDEP-N、VH-DEP-N以外の場合

- A 居室損失 16.0dB
- B 映像住戸アダプター損失 0.5dB または $\times n$ 戸
- C 映像分配器損失 4.5dB $\times n$ 台
- D 線路損失 0.15dB $\times \text{Om}$

映像住戸アダプターがVH-KDEP-N、VH-DEP-Nの場合

- A 居室損失 0dB
- B 映像住戸アダプター損失 0dB
- C 映像分配器損失 4.5dB $\times n$ 台
- D 線路損失 0.15dB $\times \text{Om}$

40.0dB \geq 合計 \square dB

$$16.0 + 0.5 \times \text{戸} + 4.5 \times \text{台} + 0.15 \times \text{Om}$$

系統あたり15住戸(映像住戸アダプター15台)・映像分配器1台・距離80mの場合

$$16.0 + 0.5 \times 15 \text{戸} + 4.5 \times 1 \text{台} + 0.15 \times 80 \text{m} = 40 \leq 40 \text{dB}$$

40.0dB \geq 合計 \square dB

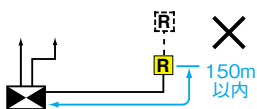
$$0 + 0 \times \text{戸} + 4.5 \times \text{台} + 0.15 \times \text{Om}$$

系統あたり15住戸(映像住戸アダプター15台)・映像分配器1台・距離80mの場合

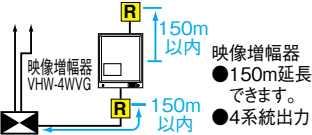
$$0 + 0 \times 15 \text{戸} + 4.5 \times 1 \text{台} + 0.15 \times 80 \text{m} = 16.5 \leq 40 \text{dB}$$

150mを超える場合

①制御装置の位置を工夫する

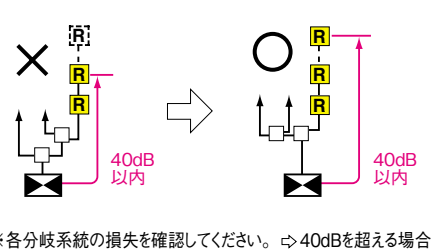


②映像増幅器を設置する

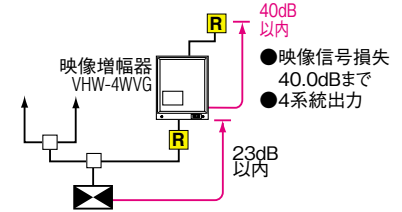


40.0dBを超える場合

①分配のしかたを工夫する



②映像増幅器を設置する



※各分岐系統の損失を確認してください。⇒40dBを超える場合

ご注意

- 同一系統内でVH-KDEP-N・VH-DEP-Nとその他の映像住戸アダプターは混在できません。
- 最遠住宅情報盤距離が150m以内でも映像分配器と映像住戸アダプターの出力損失により、映像信号の出力損失が40dB以上になる場合があります。
- VH-KDEP-N・VH-DEP-Nに接続できる住宅情報盤はVH(K)-RMB-RとVH(K)-RMC-R(S)です。その他の住宅情報盤は接続できません。
- ケーブルの損失は15dB/100m(0.15dB/m)ですが、途中でジョイントした場合はジョイント1ヵ所あたり約1dBの損失が加わりますので注意してください。